

ビーグリー(東 1:3981)

バリュエーション判断

中立 ⇒ **中立**

(2020.5.29)

目標株価

1,400円 → **1,400円**

WEB取材:2020年9月9日

担当:澤田 遼太郎

【単体】	(百万円、%、円:Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研究所予想)										
決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当	
2020/12 2Q	5,524	10	564	97	566	99	261	55	44	-	
2018/12	9,190	2	517	-54	495	-54	260	-62	44	0.0	
2019/12	10,401	13	817	58	812	64	496	90	84	0.0	
2020/12 会	11,538	11	1,009	23	1,001	23	586	18	100	0.0	
2020/12 予	11,500	11	1,000	22	1,000	23	600	21	102	0.0	
2021/12 予	12,500	9	1,190	19	1,190	19	740	23	126	0.0	

【セグメント情報】	20/12期 2Q	【PER】	【財務指標】	20/6末
コンテンツプラットフォーム事業	100%	18/12 34	BPS 813円	株価(9/10終値) 1,489円
		19/12 18	純資産 50億円	売買単位 100株
		20/12予 15	総資産 81億円	発行株数 6.2百万株
		21/12予 12	時価総額 92億円	PBR 1.83倍

<注目ポイント>

—電子書籍サイト「まんが王国」や、スマートフォンゲームを展開—

- ① 2020年12月期第2Qは売上高55.2億円(前年同期比+10%)、営業利益5.6億円(同+97%)、経常利益5.7億円(同+99%)、当期利益2.6億円(同+55%)と増収増益。まんが王国など電子書籍事業が好調だったことに加えて、広告の効率化で販管費が抑制された。
- ② 上期期初計画に対しては上振れ。通期計画に対する進捗率も売上高48%、営業利益56%と好調に推移している。
- ③ 2Q単体(4~6月)は、緊急事態宣言のあった4~5月にユーザーが増加。ここにポイントを最大45%還元する新プログラムを開始したこともあって、ポイント消費額が前年同四半期比+27%と大幅に伸長した。消費ポイントは増えたが、付与ポイントも増えたことで売上高はやや下押しの影響を受ける。
- ④ まんが王国を「お得感 No.1」の電子書籍サービスとして、ブランディングを強化する方針を発表した。同社では出版社からの許諾に取次を通していないことや、広告出稿についても自社内で行える体制が整っていることから、価格競争で優位に立てると判断した。
- ⑤ スマートフォンゲームは、「レンカ アルバニグル」「ロストアークアィブ」「ヒーローズパーク」など、各タイトルがランク外(1000位以下)で推移しており、厳しい状況が続いている。コンテンツプロデュースカンパニーとして展開するオリジナルIPを構築することが事業の狙いであるが、市場の競争が激化しているため、当面は投資を縮小し、業績への影響を抑える方針。

目標株価1400円、バリュエーション判断の中立を据え置く

DCFで算出した一株価値に基づき、目標株価1400円、バリュエーション判断の中立を据え置く。エース経済研究所では、「お得感 No.1」のブランディングが中長期的に同社の成長率を高めていけるのか、また他社が追随してきた際に、大資本系、少人数運営系、出版社系など協業他社との価格競争に対抗していけるのかに注目している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

《アナリストによる宣言》

私、澤田遼太郎は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号

加入協会: 日本証券業協会

指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%の手数料(約定代金が100万円以下の場合、最低手数料2,750円)(税込み)が必要となります。●外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の2通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大11.0%(75,000円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。

●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及びARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。